

1 概況 - 生産、出荷指数 2年連続の上昇 -

平成16年の埼玉県鋳工業指数（平成12年平均=100）は、前年に比べ生産が1.4%、出荷が1.5%、在庫が11.7%、在庫率が3.2%とすべて上昇した。

四半期別に1年間の動きをみると、生産は、1～3月期は上昇、4～6月期は低下、7～9月期は上昇したが、10～12月期には低下した。出荷は、1～3月期は上昇したが、4～6月期、7～9月期、10～12月期は低下した。在庫は、1～3月期、4～6月期、7～9月期は上昇したが、10～12月期は上昇した。また、在庫率も、1～3月期、4～6月期、7～9月期、10～12月期すべて上昇した。

業種別にみると、生産は、19業種中11業種で上昇し、7業種で低下した。1業種は変わらなかった。上昇には一般機械工業（対前年比22.8%、以下同じ）、輸送機械工業（3.6%）などが、低下には電気機械工業（6.9%）、金属製品工業（7.0%）などが寄与した。

出荷は、19業種中8業種で上昇し、11業種で低下した。上昇には一般機械工業（24.5%）、輸送機械工業（1.9%）などが、低下には電気機械工業（5.9%）、金属製品工業（7.5%）などが寄与した。

在庫は、19業種中10業種で上昇し、9業種で低下した。上昇には電気機械工業（33.3%）、輸送機械工業（33.0%）などが、低下には鉄鋼業（13.8%）、繊維工業（15.1%）などが寄与した。

表1 - 1 鋳工業総合指数の推移（12年=100 季調済、年の数字は原指数による）

種別		15年	16年	16年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	91.8	93.1	95.9	93.3	93.5	90.4
	増加率(%)	3.4	1.4	3.9	2.7	0.2	3.3
出荷	指数	94.0	95.4	98.6	97.0	94.3	92.3
	増加率(%)	7.9	1.5	4.8	1.6	2.8	2.1
在庫	指数	100.4	112.1	103.2	108.0	114.5	113.9
	増加率(%)	6.2	11.7	1.0	4.7	6.0	0.5
在庫率	指数	124.9	128.9	120.5	127.7	133.5	134.5
	増加率(%)	0.4	3.2	0.2	6.0	4.5	0.7

図1 - 1 鋳工業総合指数の推移（12年=100 季調済、年の数字は原指数による）

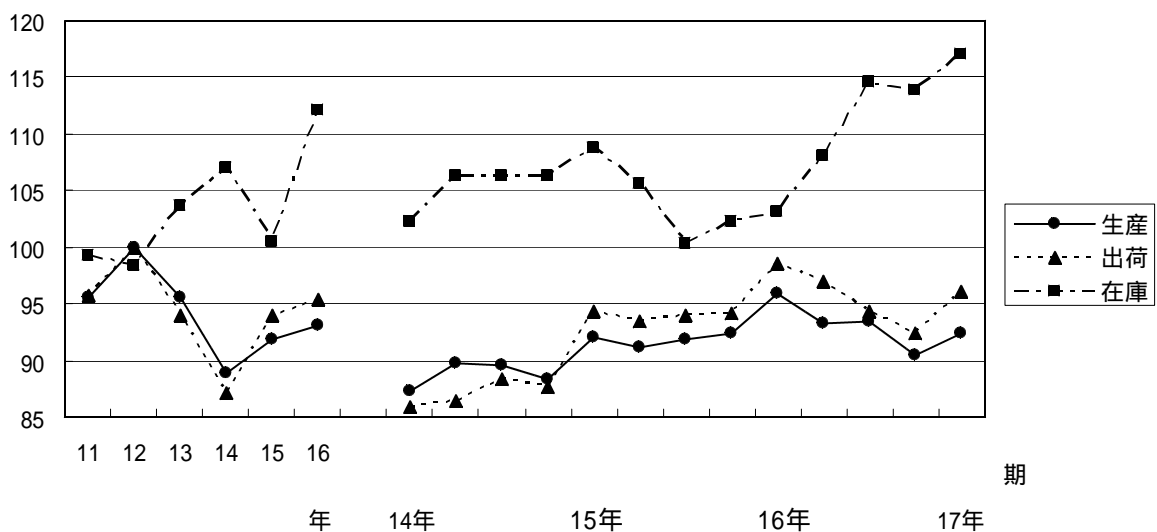
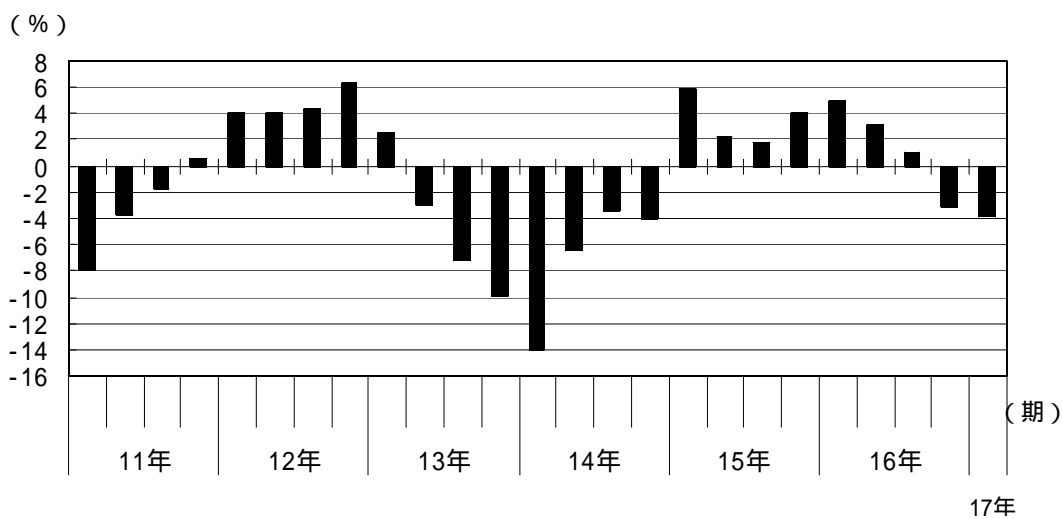


表 1 - 2 上昇・低下に寄与した業種及び品目

生産：11業種が上昇、7業種が低下、1業種は変わらなかった		
上昇した主な業種	一般機械工業 22.8% (2.0%) 輸送機械工業 3.6% (0.4%)	半導体製造装置 乗用車
低下した主な業種	電気機械工業 6.9% (1.1%) 金属製品工業 7.0% (0.3%)	携帯電話 アルミニウムエクステリア
上昇した主な品目	半導体製造装置 空気圧機器 フラットパネル・ディスプレイ製造装置	
低下した主な品目	携帯電話 医薬品 端末装置	
出荷：8業種が上昇、11業種が低下		
上昇した主な業種	一般機械工業 24.5% (1.9%) 輸送機械工業 1.9% (0.5%)	半導体製造装置 乗用車
低下した主な業種	電気機械工業 5.9% (1.1%) 金属製品工業 7.5% (0.2%)	携帯電話 アルミニウムエクステリア
上昇した主な品目	半導体製造装置 空気圧機器 フラットパネル・ディスプレイ製造装置	
低下した主な品目	携帯電話 医薬品 DVD - ビデオ	
在庫：10業種が上昇、9業種が低下		
上昇した主な業種	電気機械工業 33.3% (7.4%) 輸送機械工業 33.0% (2.9%)	カーステレオ 乗用車
低下した主な業種	鉄鋼業 13.8% (0.4%) 繊維工業 15.1% (0.3%)	鋼半製品 綿織物
上昇した主な品目	カーステレオ 乗用車 混成集積回路	
低下した主な品目	圧縮機 プラスチック製フィルム 綿織物	

注) 数字は対前年比。()内は寄与度。

図 1 - 2 生産指数前年同期比の推移



2 主要業種の動向

(1) 金属製品工業 - 生産、出荷指数ともに4年連続の低下 -

平成16年の金属製品工業は、前年に比べ、生産が7.0%、出荷が7.5%、在庫が2.0%、在庫率が0.2%すべて低下した。

品目別にみると、生産は、飲料用アルミニウム缶、粉末や金製磁性材料などが上昇に寄与し、アルミニウムエクステリア、ビル用アルミニウムサッシなどが低下に寄与した。出荷は、粉末や金製磁性材料、線バネなどが上昇に寄与し、アルミニウムエクステリア、ビル用アルミニウムサッシなどが低下に寄与した。在庫は、一般缶、飲料用アルミニウム缶などが上昇に寄与し、石油温風暖房機、食缶などが低下に寄与した。

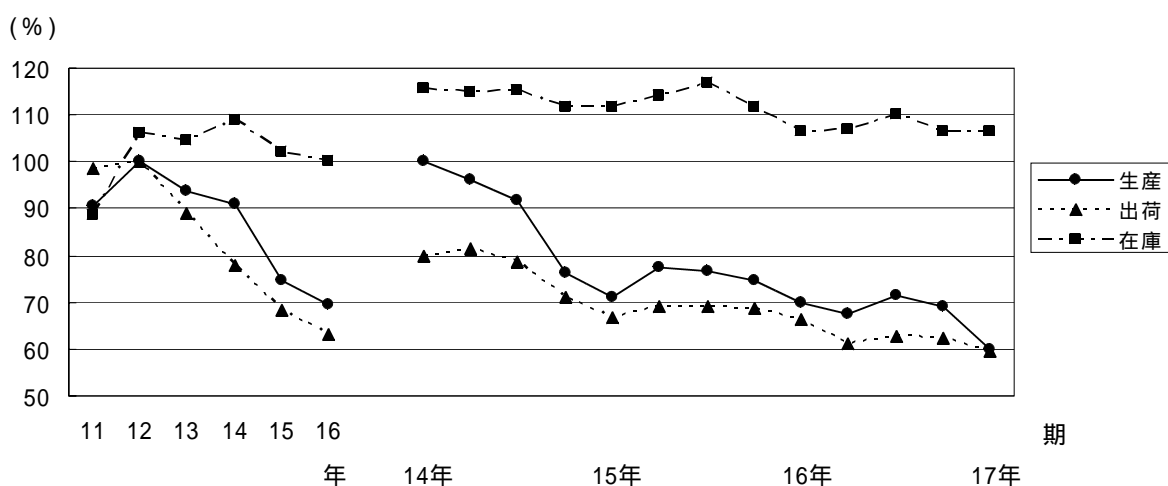
表2 - 1 金属製品工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		15年	16年	16年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	74.5	69.3	70.0	67.5	71.4	69.2
	増加率(%)	18.2	7.0	6.3	3.6	5.8	3.1
出荷	指数	68.2	63.1	66.2	61.3	62.8	62.5
	増加率(%)	12.5	7.5	3.8	7.4	2.4	0.5
在庫	指数	102.0	100.0	106.5	106.7	110.1	106.4
	増加率(%)	6.3	2.0	4.5	0.2	3.2	3.4
在庫率	指数	174.2	173.9	155.5	178.1	183.2	180.9
	増加率(%)	7.7	0.2	11.4	14.5	2.9	1.3

図2 - 1 金属製品工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(2) 一般機械工業 - 生産、出荷指数ともに2年連続の上昇 -

平成16年の一般機械工業は、前年に比べ、生産が22.8%、出荷が24.5%、在庫が0.9%上昇し、在庫率が7.3%低下した。

品目別にみると、生産は、半導体製造装置、空気圧機器などが上昇に寄与し、静電間接式複写機、分離機器などが低下に寄与した。出荷は、半導体製造装置、空気圧機器などが上昇に寄与し、分離機器、給排水栓類などが低下に寄与した。在庫は、一般缶、飲料用アルミニウム缶などが上昇に寄与し、石油温風暖房機、食缶などが低下に寄与した。

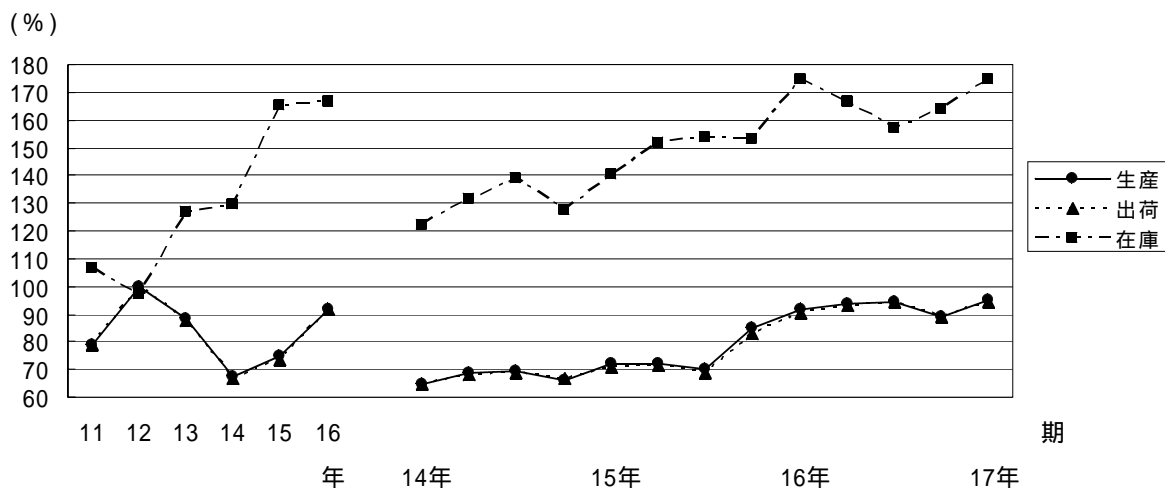
表 2 - 2 一般機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		15年	16年	16年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	74.9	92.0	91.4	93.7	94.3	89.2
	増加率(%)	11.3	22.8	7.9	2.5	0.6	5.4
出荷	指数	73.5	91.5	90.3	92.9	94.1	88.7
	増加率(%)	10.0	24.5	8.7	2.9	1.3	5.7
在庫	指数	165.3	166.8	174.8	166.5	157.4	163.7
	増加率(%)	27.5	0.9	14.4	4.7	5.5	4.0
在庫率	指数	169.5	157.1	165.9	158.2	151.5	153.8
	増加率(%)	3.9	7.3	11.0	4.6	4.2	1.5

図 2 - 2 一般機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(3) 電気機械工業 - 生産、出荷指数ともに2年ぶりの低下 -

平成16年の電気機械工業は、前年に比べ、生産が6.9%、出荷が5.9%低下し、在庫が33.3%、在庫率が19.2%上昇した。

品目別にみると、生産は、デジタル伝送装置、開閉制御装置などが上昇に寄与し、携帯電話、端末装置などが低下に寄与した。出荷は、デジタル伝送装置、開閉制御装置などが上昇に寄与し、携帯電話、DVD - ビデオなどが低下に寄与した。在庫は、カーステレオ、混成集積回路などが上昇に寄与し、コードレスホン、電気掃除機などが低下に寄与した。

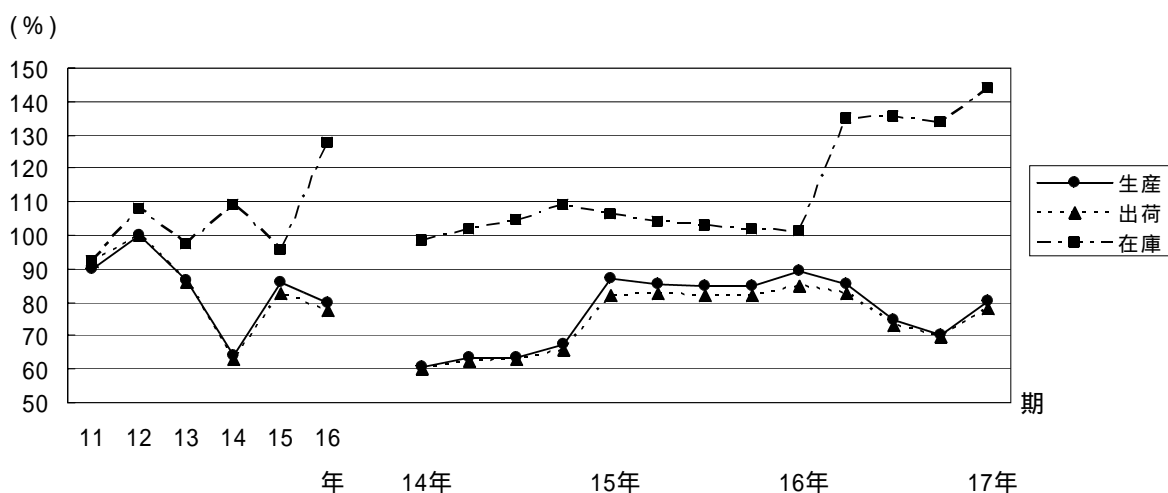
表 2 - 3 電気機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		15年	16年	16年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	85.7	79.8	89.3	85.5	75.0	70.2
	増加率(%)	34.1	6.9	5.2	4.3	12.3	6.4
出荷	指数	82.5	77.6	85.1	82.8	72.8	69.9
	増加率(%)	31.0	5.9	3.5	2.7	12.1	4.0
在庫	指数	95.6	127.4	101.2	135.0	135.5	133.7
	増加率(%)	12.5	33.3	0.7	33.4	0.4	1.3
在庫率	指数	129.6	154.5	131.0	154.8	168.7	162.5
	増加率(%)	0.4	19.2	1.9	18.2	9.0	3.7

図 2 - 3 電気機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(4) 輸送機械工業 - 生産、出荷指数ともに上昇 -

平成16年の輸送機械工業は、前年に比べ、生産が3.6%、出荷が1.9%、在庫が33.0%上昇し、在庫率が11.6%低下した。

品目別にみると、生産は、乗用車、輸送機械用エアコンなどが上昇に寄与し、計器類、シャシー・車体部品などが低下に寄与した。出荷は、乗用車、輸送機械用エアコンなどが上昇に寄与し、完成自転車、計器類などが低下に寄与した。在庫は、乗用車、完成自転車が上昇に寄与し、けん引車、大型バスなどが低下に寄与した。

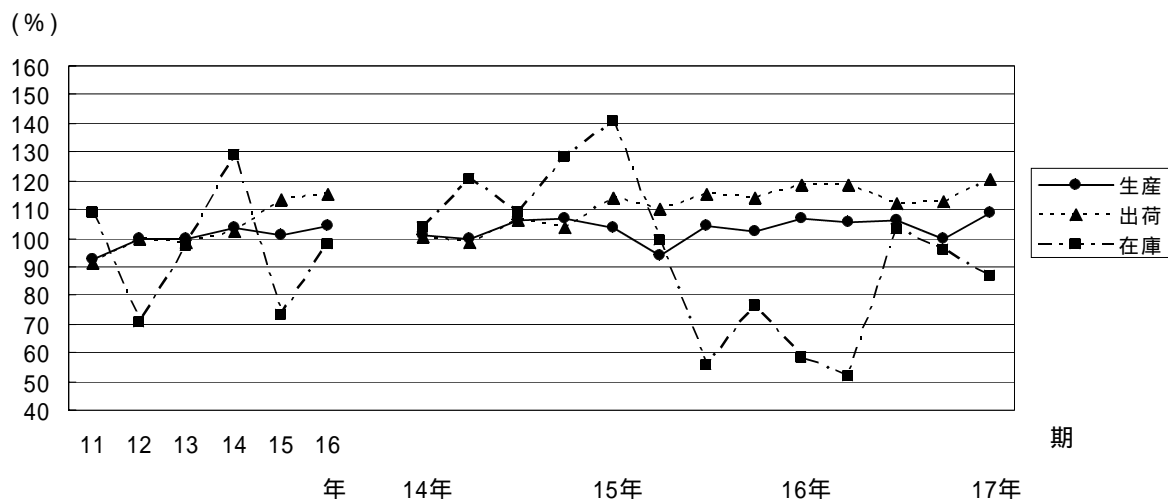
表 2 - 4 輸送機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		15年	16年	16年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	100.9	104.5	107.0	105.3	105.9	100.0
	増加率(%)	2.5	3.6	4.6	1.6	0.6	5.6
出荷	指数	113.1	115.2	118.6	118.5	111.9	112.5
	増加率(%)	10.6	1.9	3.9	0.1	5.6	0.5
在庫	指数	73.4	97.6	58.2	51.7	102.6	96.1
	増加率(%)	43.1	33.0	23.5	11.2	98.5	6.3
在庫率	指数	91.5	80.9	62.2	64.4	90.3	109.3
	増加率(%)	14.1	11.6	22.9	3.5	40.2	21.0

図 2 - 4 輸送機械工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(5) 化学工業 - 生産、出荷ともに2年ぶりの低下 -

平成16年の化学工業は、前年に比べ、生産が0.8%、出荷が0.8%低下し、在庫が9.6%、在庫率が2.3%上昇した。

品目別にみると、生産は、化粧品、印刷インキなどが上昇に寄与し、医薬品、ウレタンフォームなどが低下に寄与した。出荷は、化粧品、印刷インキなどが上昇に寄与し、医薬品、ウレタンフォームなどが低下に寄与した。在庫は、印刷インキ、複合肥料などが上昇に寄与し、石鹼、シンナーなどが低下に寄与した。

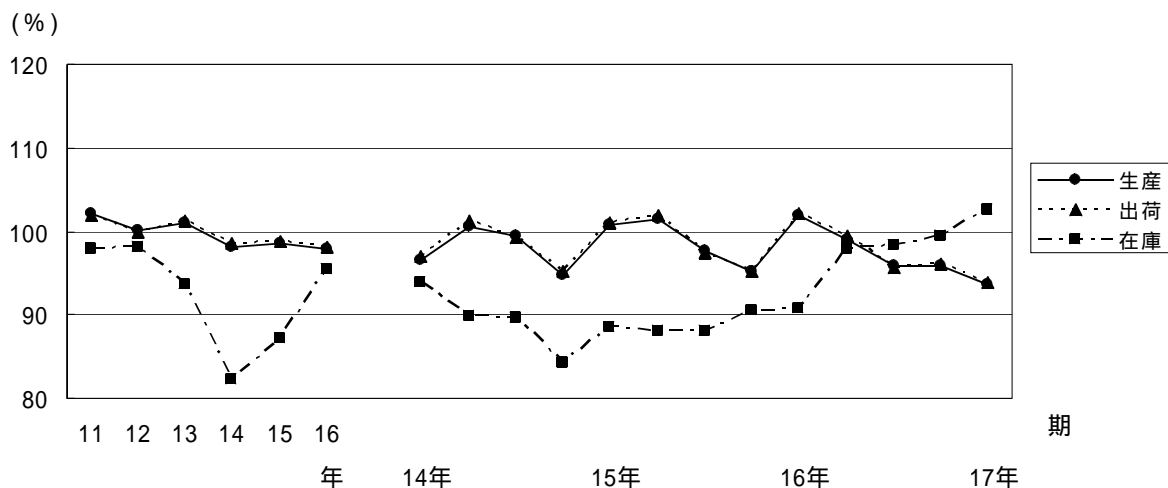
表 2 - 5 化学工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		15年	16年	16年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	98.6	97.8	102.0	98.9	95.9	95.8
	増加率(%)	0.5	0.8	7.3	3.0	3.0	0.1
出荷	指数	98.8	98.0	102.2	99.4	95.7	96.0
	増加率(%)	0.3	0.8	7.2	2.7	3.7	0.3
在庫	指数	87.1	95.5	90.8	97.8	98.4	99.5
	増加率(%)	5.8	9.6	0.2	7.7	0.6	1.1
在庫率	指数	98.6	100.9	97.2	98.7	102.1	105.7
	増加率(%)	2.5	2.3	3.6	1.5	3.4	3.5

図 2 - 5 化学工業の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



(6) プラスチック製品工業 - 生産、出荷指数ともに上昇 -

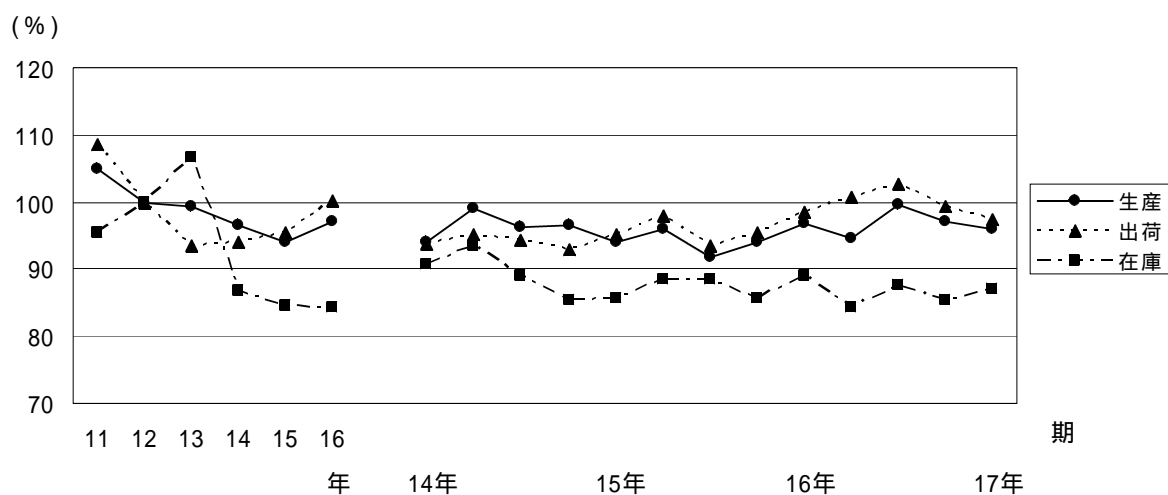
平成16年のプラスチック製品工業は、前年に比べ、生産が3.1%、出荷が5.0%上昇し、在庫が0.2%、在庫率が3.6%低下した。

品目別にみると、生産は、浄化槽、強化プラスチック製品が上昇に寄与し、プラスチック製シート、プラスチック製フィルムなどが低下に寄与した。出荷は、プラスチック製容器、浄化槽などが上昇に寄与し、プラスチック製シート、プラスチック製機械器具部品などが低下に寄与した。在庫は、プラスチック製建材、プラスチック製シートなどが上昇に寄与し、プラスチック製容器、プラスチック製機械器具部品などが低下に寄与した。

表 2 - 6 プラスチック製品工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		15年	16年	16年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
生産	指数	94.1	97.0	96.8	94.7	99.6	97.1
	増加率(%)	2.5	3.1	2.9	2.2	5.2	2.5
出荷	指数	95.5	100.3	98.4	100.8	102.7	99.3
	増加率(%)	1.6	5.0	3.1	2.4	1.9	3.3
在庫	指数	84.4	84.2	89.1	84.2	87.7	85.5
	増加率(%)	2.7	0.2	4.0	5.5	4.2	2.5
在庫率	指数	95.5	92.1	94.7	92.8	91.6	89.2
	増加率(%)	0.4	3.6	1.6	2.0	1.3	2.6

図 2 - 6 プラスチック製品工業の推移 (12年=100 季調済、年の数値は原指数による)



3 財別動向

(1) 生産 - 鉱工業用生産財が2年連続の上昇 -

平成16年の生産動向を財別にみると、鉱工業用生産財（対前年比5.6%、以下同じ）が上昇に寄与し、耐久消費財（11.7%）などが低下に寄与した。鉱工業用生産財では、空気圧機器、印刷インキなどが上昇に寄与し、耐久消費財では、携帯電話、DVD・ビデオなどが低下に寄与した。最終需要財全体では、半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが上昇に寄与し、携帯電話、医薬品などが低下に寄与した。また、生産財では、空気圧機器、印刷インキなどが上昇に寄与し、食缶、計器類などが低下に寄与した。

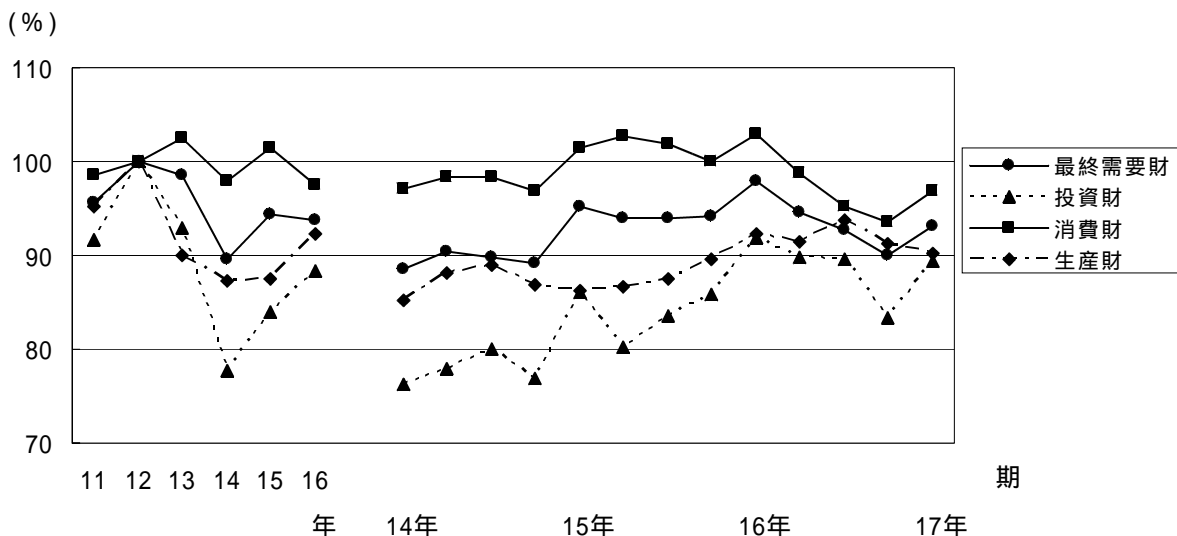
表3-1 財別生産の推移

（12年=100 季調済、年の数値は原指数による）

種別		15年	16年	16年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
最終需要財	指数	94.3	93.7	97.9	94.6	92.8	90.1
	増加率(%)	5.2	0.6	3.9	3.4	1.9	2.9
投資財	指数	84.0	88.4	91.9	89.7	89.6	83.4
	増加率(%)	8.1	5.2	7.0	2.4	0.1	6.9
資本財	指数	82.4	90.5	95.3	93.2	91.0	83.4
	増加率(%)	15.1	9.8	12.2	2.2	2.4	8.4
建設財	指数	87.4	84.0	84.5	82.2	85.2	84.1
	増加率(%)	3.9	3.9	2.4	2.7	3.6	1.3
消費財	指数	101.5	97.4	102.9	98.7	95.3	93.5
	増加率(%)	3.7	4.0	3.0	4.1	3.4	1.9
耐久消費財	指数	102.7	90.7	99.0	98.0	84.4	82.1
	増加率(%)	16.4	11.7	3.7	1.0	13.9	2.7
非耐久消費財	指数	101.0	99.7	104.4	99.7	97.5	98.1
	増加率(%)	0.2	1.3	5.5	4.5	2.2	0.6
生産財	指数	87.5	92.2	92.3	91.5	93.7	91.3
	増加率(%)	0.2	5.4	3.1	0.9	2.4	2.6
鉱工業用生産財	指数	87.8	92.7	92.7	92.1	94.3	91.9
	増加率(%)	0.3	5.6	3.1	0.6	2.4	2.5
その他用生産財	指数	70.7	61.6	68.5	59.6	60.9	57.9
	増加率(%)	3.0	12.9	0.4	13.0	2.2	4.9

図3-1 財別生産の推移

（12年=100 季調済、年の数値は原指数による）



(2) 出荷 - 鉱工業用生産財が2年連続の上昇 -

平成16年の出荷動向を財別にみると、鉱工業用生産財（対前年比5.6%、以下同じ）が上昇に寄与し、耐久消費財（9.8%）などが低下に寄与した。鉱工業用生産財では、空気圧機器、プラスチック製容器などが上昇に寄与し、耐久消費財では、携帯電話、DVD・ビデオなどが低下に寄与した。最終需要財全体では、半導体製造装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置などが上昇に寄与し、携帯電話、医薬品などが低下に寄与した。また、生産財では、空気圧機器、プラスチック製容器などが上昇に寄与し、給排水栓類、スイッチング電源などが低下に寄与した。

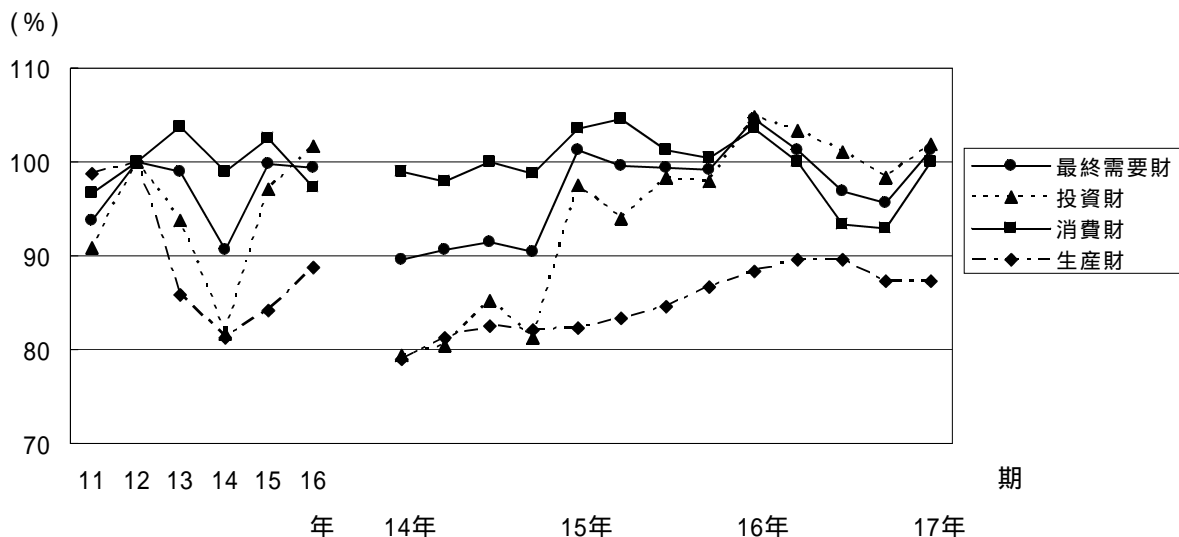
表3-2 財別出荷の推移

（12年=100 季調済、年の数値は原指数による）

種別		15年	16年	16年			
				1～3月	4～6月	7～9月	10～12月
最終需要財	指数	99.8	99.4	104.5	101.2	96.9	95.7
	増加率(%)	10.2	0.4	5.4	3.2	4.2	1.2
投資財	指数	97.0	101.7	104.7	103.4	101.1	98.4
	増加率(%)	18.9	4.8	6.8	1.2	2.2	2.7
資本財	指数	98.7	105.6	109.3	109.2	104.1	101.1
	増加率(%)	26.1	7.0	8.5	0.1	4.7	2.9
建設財	指数	91.2	88.6	87.6	86.4	89.8	90.6
	増加率(%)	1.8	2.9	2.8	1.4	3.9	0.9
消費財	指数	102.4	97.3	103.6	100.0	93.4	93.0
	増加率(%)	3.4	5.0	3.1	3.5	6.6	0.4
耐久消費財	指数	105.1	94.8	103.0	103.0	85.7	87.9
	増加率(%)	10.3	9.8	1.2	0.0	16.8	2.6
非耐久消費財	指数	100.5	99.0	103.2	99.4	97.2	97.3
	増加率(%)	1.1	1.5	4.7	3.7	2.2	0.1
生産財	指数	84.2	88.7	88.4	89.5	89.6	87.3
	増加率(%)	3.7	5.3	2.0	1.2	0.1	2.6
鉱工業用生産財	指数	84.4	89.1	88.6	90.0	90.0	87.7
	増加率(%)	3.8	5.6	1.8	1.6	0.0	2.6
その他用生産財	指数	70.7	60.6	67.0	58.8	58.9	57.7
	増加率(%)	2.9	14.3	4.3	12.2	0.2	2.0

図3-2 財別出荷の推移

（12年=100 季調済、年の数値は原指数による）



(3) 在庫 - 耐久消費財が2年ぶりの上昇 -

平成16年の在庫動向を財別にみると、耐久消費財（対前年比52.3%、以下同じ）が上昇に寄与し、建設財（7.2%）などが低下に寄与した。耐久消費財では、カーステレオ、乗用車などが上昇に寄与し、建設財では、ほうろう鉄器、プラスチック製板などが低下に寄与した。最終需要財全体では、カーステレオ、乗用車などが上昇に寄与し、圧縮機、けん引車などが低下に寄与した。また、生産財では、混成集積回路、モス型半導体集積回路などが上昇に寄与し、プラスチック製フィルム、綿織物などが低下に寄与した。

表3-3 財別在庫の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

種別		15年	16年	16年			
				1~3月	4~6月	7~9月	10~12月
最終需要財	指数	81.2	96.8	79.4	91.0	106.7	98.9
	増加率(%)	20.9	19.2	6.8	14.6	17.3	7.3
投資財	指数	89.0	91.1	86.9	82.2	94.2	92.6
	増加率(%)	13.9	2.4	4.3	5.4	14.6	1.7
資本財	指数	88.0	96.0	84.1	78.4	98.8	98.2
	増加率(%)	17.3	9.1	6.7	6.8	26.0	0.6
建設財	指数	90.4	83.9	90.3	89.8	88.3	84.1
	増加率(%)	8.8	7.2	2.3	0.6	1.7	4.8
消費財	指数	72.8	103.0	70.4	100.7	122.1	105.3
	増加率(%)	28.4	41.5	10.5	43.0	21.3	13.8
耐久消費財	指数	70.6	107.5	64.1	107.2	133.3	110.2
	増加率(%)	35.6	52.3	17.3	67.2	24.3	17.3
非耐久消費財	指数	78.2	92.1	82.5	84.4	89.7	94.1
	増加率(%)	5.4	17.8	2.1	2.3	6.3	4.9
生産財	指数	115.3	124.0	120.9	122.2	120.6	124.7
	増加率(%)	4.4	7.5	5.1	1.1	1.3	3.4
鉱工業用生産財	指数	116.5	124.4	121.6	122.7	120.8	125.2
	増加率(%)	5.2	6.8	5.2	0.9	1.5	3.6
その他用生産財	指数	67.8	107.8	93.2	101.1	109.0	106.9
	増加率(%)	31.2	59.0	5.7	8.5	7.8	1.9

図3-3 財別在庫の推移

(12年=100 季調済、年の数値は原指数による)

